

指定管理者制度導入施設評価票

| | | | |
|--------|----------------------|-----|---------------|
| 評価対象年度 | 令和4年度 | | |
| 施設名 | 秋田県自然体験活動センター | 設置年 | 平成 19 年 |
| 所在地 | 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53-1 | | |
| 指定管理者 | 八峰町長 | | |
| 県所管課 | 生涯学習 | 課 | 社会教育・読書推進 チーム |

1 施設の概要

| | | | | | | |
|------------------|---|---|----------|-------------|----------|----------|
| 設置目的 | 豊かな自然との触れ合いを通じて行う体験活動その他の体験の機会を提供し、もって青少年の心身の健全な発達を図るとともに、県民の生涯学習の振興に資することを目的として設置する。 | | | | | |
| 県の施策上の施設の位置付け | 新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 該当無し | | | | | |
| | 新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの 該当無し | | | | | |
| 施設の面積 | 敷地面積：7,248㎡ 建築面積：1,660㎡ | | | | | |
| 主な設置施設 | | | | | | |
| 指定管理業務の内容 | 料金制 | <input checked="" type="checkbox"/> (有) 利用料金併用制 ・ 完全利用料金制) 無 (指定管理料制) | | | | |
| | 料金設定 | 宿泊料金1,980円～、多目的ホール等1時間550円～、体験活動料金はそれぞれによる。 | | | | |
| | サウンディング実施対象施設※ | × ←○、×を記入 | | | | |
| | 指定期間 | 令和4年4月1日 | | ～ 令和9年3月31日 | | |
| | 営業期間・時間 | 年中無休(年末年始除く) 受付時間8時30分～17時15分 | | | | |
| | | ① 使用の許可、使用の許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 ② 施設及び設備の維持管理に関する業務 ③ 体験活動の機会の提供に関する業務ほか | | | | |
| 自主事業の内容 | ○白神ガイドの会と提携した自然体験活動 ○食づくりや各種工作体験活動 ○白神の海と山のわんぱく夏塾、親子で体験隊ほか | | | | | |
| 直近3年の年間利用者数 | R2 | 3,361人 | R3 | 3,812人 | R4 | 4,024人 |
| 直近3年の年間料金収入 | R2 | 2,949千円 | R3 | 6,541千円 | R4 | 9,148千円 |
| 直近5年の収支決算(単位:千円) | | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 |
| 収入計 | | 15,848 | 14,457 | 6,574 | 10,083 | 11,253 |
| 利用料収入 | | 12,791 | 11,302 | 2,949 | 6,547 | 7,747 |
| 指定管理料 | | 3,057 | 3,057 | 3,575 | 3,461 | 3,442 |
| その他収入 | | | 98 | 50 | 75 | 64 |
| 支出計 | | 38,560 | 44,941 | 36,793 | 46,036 | 40,644 |
| 人件費 | | 17,846 | 31,414 | 24,982 | 34,002 | 25,817 |
| 人件費以外 | | 20,714 | 13,527 | 11,811 | 12,034 | 14,827 |
| 差引 | | ▲ 22,712 | ▲ 30,484 | ▲ 30,219 | ▲ 35,953 | ▲ 29,391 |

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の2～3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

(観点I) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

| | |
|----------|---------------------|
| 令和4年度の目標 | 宿泊利用者数3,100人を目標とする。 |
|----------|---------------------|

○指定管理者による実績報告

| 直近3年の実績 | 年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|----------------|-------------|--|-------|-------|
| | 目標 | 3,960 | 3,500 | 2,500 |
| 実績 | 3,677 | 520 | 1,946 | |
| 達成率 | 92.9% | 14.9% | 77.8% | |
| 令和4年度の実績 | 実績 | 2,458人 | 達成率 | 79.3% |
| | 具体的な取組とその効果 | セカンドスクール利用に関しては、2月に利用経験のある学校に利用案内を送付し、5月から9月末までの利用計画を策定。その結果、63校、延べ3,829人の利用があった。一般利用を含む全体では宿泊2,458人、日帰り1,566人の利用があった。 | | |
| 令和5年度の目標(設定根拠) | 目標 | 宿泊3,100人、日帰り3,100人 | | |
| | 設定根拠 | 令和元年度並の宿泊者3,677人を期待するが、少子化等を考慮し令和元年度実績の85%程度を目標設定数値とした。(3,677人×85%=3,125人≒3,100人) | | |

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

(観点I) の評価

| 評価欄 | 評価者 | 評価 | コメント |
|--------|-------|---|--|
| | 指定管理者 | C | セカンドスクール利用に関しては、コロナ感染症の影響により利用日を改めることはあったが、概ねご利用いただくことができた。一方で県外からの団体や一般利用に関しては、安全を確保できないという判断からキャンセルが多かった。令和5年度は予約の時点でセカンドスクール、ハイシーズンでの休日の予約が多く入ってきており、相当数の利用者を見込んでいる。コロナ以前の賑わいを期待する。 |
| 県(所管課) | C | 令和4年度の目標は達成できなかったものの、前年度比約500人増とコロナ禍からの回復が見て取れる。しかし、達成率を利用者の区分で見ると、小学生・中学生が83.4%、高校生・大学生が112.8%、一般が50.4%と一般の宿泊客の落ち込みが大きいことが分かる。今後も利用者層の拡大に向け、各種媒体を活用した広報活動やニーズに応じた主催事業の実施に努めてほしい。 | |

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

（観点Ⅱ）施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

| | | | | |
|---------------------|-------------|--|-------|-------|
| 利用者満足度の状況 (直近3年) | R元年度 | | R2年度 | R3年度 |
| | 99.1% | | 99.5% | 98.4% |
| 令和4年度の実績 | 実績 | 94.00% | | |
| | 具体的な取組とその効果 | 施設内では利用前、利用後の掃除と消毒を欠かさず、外環境では草刈と清掃をこまめ行った結果、清掃面での満足度は100%であった。施設と体験用具についても在庫管理や用具メンテナンスを定期的に行っており、安全確保ができています。 | | |

（観点Ⅱ）の評価

| 評価者 | 評価 | コメント |
|------------|----|---|
| 指定管理者 | A | セカンドスクールの利用アンケートでは、施設環境については満足度99%となっている。活動内容に関しては満足度91%であるが、事前打合せの満足度が78%となっている。これは、担当教諭とセンター研修・企画係の打合せに限られた時間の中でとなること、メールによるニュアンスの伝わり方によるものと推測する。令和4年度当初は、人事異動により町側職員3名が2名となり新規担当となったこと、県側研修員1名の交代、会計年度任用職員1名減（途中で1名採用）となったことに起因しているものと考えます。令和5年度以降は、担当業務の振り分けにより改善していくものと考えます。施設面では、経年劣化によるものと現代に即して更新すべき箇所も増えてきている。 |
| 県 (所管課) | A | 日々のメンテナンスが隅々まで行き届いているため、15年以上経過した今でも館内、敷地内ともにすっきりと清潔な印象が保たれている。接客については、毎朝の「接客の心得」の確認や職員間の研鑽によって向上が見られる。今年度も90%を超える満足度となったのは、職員のサービスの質に対する真摯な取組の成果だと評価できる。 |

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

（観点Ⅲ）効率性の向上等に関する取組

（1）経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

| | | |
|----------|-------------|--|
| 令和4年度の実績 | 経費の低減実績 | 人件費含む支出総額は40,644千円となっており、令和3年度と比較し5,392千円の減となっている。人件費が8,185千円削減されたのに対しそれ以外の経費では2,793千円の増となっているが、これは電気料金で783千円の増のほか、施設補修等の増加によるものである。 |
| | 具体的な取組とその効果 | 体験に必要な素材(貝殻、小枝等)は、スタッフが海山で採集している。また、用具等の在庫管理を行っており、ある程度まとまった購入をして経費の削減に努めている。清掃パートはいるが、館内清掃、部屋セットなどは全職員で行っている。 |

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

（2）収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

| | | |
|----------|-------------|---|
| 令和4年度の実績 | 収入の増加実績 | 利用収入は令和3年度と比較し1,200千円増の7,747千円となった。 |
| | 具体的な取組とその効果 | セカンドスクール利用では、1日に複数校を受入れる場合もあり、その際は海と山、工作や食事時間などを分散させ活動の重複を防ぎ学校の要望に極力対応するようにしている。海での活動ができる数少ない施設としての役割を果たしている。また、体験等協力団体全体で840万円の経済効果をもたらしている。 |

(観点Ⅲ) の評価

| | 評価者 | 評価 | コメント |
|-----|------------|----|--|
| 評価欄 | 指定管理者 | B | 顧客満足度を下げずに支出の削減に努めることは極めて難しい。収入の増加に関しては、利用者を増やすことも大切だが、客単価を上げるかが課題である。 |
| | 県 (所管課) | A | 支出は前年比88.3%、収入は前年比118.3%とどちらも5%以上の改善が見られる。特に支出は、施設補修等の増加や電気料金の高騰とマイナス要因がある中で改善であることからA評価とした。 |

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

(観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

| | |
|----------|---|
| 令和4年度の実績 | <ul style="list-style-type: none"> ○人員配置 <ul style="list-style-type: none"> ◆施設管理に必要な資格等 <ul style="list-style-type: none"> ・甲種防火管理者…1名資格あり、危険物取扱者…1名資格あり(乙種第四類)、食品衛生責任者…3名資格あり(表示は1名)、普通自動車中型限定解除…3名資格あり(1名は大型) ◆職員配置 <ul style="list-style-type: none"> ・町側…正職員：所長1名、研修企画・総務係長1名、会計年度任用職員：作業員、用務員通年各1名、季節(4～10月末)作業員1名、用務員2名、清掃パート：3名、パート日直2名 ・県側…派遣社会教育主事1名、研修員1名 ◆宿直 <ul style="list-style-type: none"> ・ハタハタ館に委託 ○職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングによる挨拶、日程等の確認 ・研修会等への参加 ○地域や関係団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会での意見交換を年1回以上開催 ○安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動マニュアルの徹底と見直し、改善の実施 ・シーズン前の安全確認と事前研修の実施 ・利用者への食物アレルギー調査と食事提供先との調整 ○危機管理等 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先リストの共有 ・消防訓練年2回実施 |
|----------|---|

(観点Ⅳ) の評価

| | 評価者 | 評価 | コメント |
|-----|------------|----|--|
| 評価欄 | 指定管理者 | B | 施設の管理運営に必要な資格については要件を満たしている。セカンドスクール利用は安全・安心が第一のため、事前の確認と事後の評価を行い改善を行っている。 |
| | 県 (所管課) | B | 運営協議会では施設の運営に関して活発な意見交換が行われており、協力団体との関係も良好である。人員の配置も適切であり、危機管理上の問題なく日々の業務が遂行されている。 |

【評価基準】 A：順調（改善点なし）、B：概ね順調（重大な問題点なし）、C：改善が必要（重大な問題点あり）

県（所管課）の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

| |
|---|
| <p>○県の施策の達成状況 (施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドスクールの利用が回復しつつあり、豊かな人間性を育む教育活動の充実に寄与している。 ・一般向けイベントを開催し、県民だれもが自主的に学べる「生涯学習施設」として機能している。 ・地域に密着した施設であるため、地域の関係人口の創出に寄与している。 |
| <p>○施設運営の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の経年劣化による維持管理費の増加 ・一般利用客の伸び悩み ・冬期間の集客 |
| <p>○今後の方向性 (県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常点検と職員間の情報共有により、問題箇所の早期把握に努める。 ・社会動向や利用者のニーズを把握した企画の立案、運営に努める。 ・立地条件を生かした冬期間のアウトドアイベントの企画やHP、SNSや広報誌、口コミ等による冬期間の情報発信に努める。 |